

# 櫻

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和7年 2月28日(金) Vol.43

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」  
「団結・協力を大切に」「命を大切に」



【ホームページへ】

## 義務教育での最後の授業

卒業まであと9日となった3年生は、27日(木)をもって、9教科全ての授業を終えました。3年間の中学校生活、さらには、小学校から合わせて9年間の義務教育の授業にピリオドが打たれたのです。

学校生活の中で、最も長い時間を占めるのは授業です。毎回楽しみだった授業や、苦手な授業、たいへんだった授業など、いろいろな経験もしてきたことでしょう。その授業には、個性豊かな先生の存在も欠かせません。小学1年生から現在に至るまで、実にたくさんの先生に出会いながら、みなさんは授業を受けてきました。

ここでは、最後の技能教科の様子を紹介します。高校によっては、技能教科の時間が、中学校より少なくなることもあります。コースや科によっては、今後はもう学習しない教科もあるかもしれません。いずれにしても、このメンバーでの活動は、これが最後。どの教科も、一生懸命取り組みました。



【家庭科の授業は小豆を箸でつまみながら、介護のあり方を学びます。相手の立場に立つ接し方ができる人になってほしいです】



【技術科は表計算アプリの使い方。パソコンよりタブレットの方が慣れている世代ですが、いろいろな方法を学んでほしいです】



【音楽科では、卒業式に向けた合唱練習。コンクールに向けて磨き上げた技を全て出し切って、最高の歌声を作りあげます】



【美術科は、彫刻の仕上げで、ひたすら磨いています。すぐに結果は出なくても、納得のいくまで、完成を目指して磨き続けよう】



【最後の体育の授業は、男子はグラウンドでサッカー、女子は体育館でバレーとバスケット。 「さすがサッカー部！」などの前向きな声かけがあったり、「高校で、部活続ける？」という会話が聞こえたり。万感の思いを込めて球を蹴り、投げ、打ち返していました】



「義務教育での最後の授業」とは言っても、高校など上級学校に進めば、もちろん授業は続きます。「義務教育」とは、「保護者が教育を受けさせる義務」であり、皆さんが9年間の学習を修めることができるのは、保護者の皆さんが、その義務を果たしているおかげである、ということになるのです。

では、義務教育を修了した先は？これは、もちろん、3年生の皆さんが選択した進学先で、今度は自分の意志で、自分で目標を設定して、それに向かって学んでいくことになります。内容が細かく難しく高度になり、授業のテンポも速くなり、予習・復習・宿題は当たり前、という学校もあるでしょう。9年間、学習習慣の習得や、効果的な学習計画の立て方などを身に付けようと頑張ってきた皆さんなら、きっとこれからの学習も、それなりに乗り越えていくことと期待しています。

家庭科の先生は「学校で学ぶことの最終的な目的は、『自立した大人』になること。自分で考え行動して、学んで、働いて、税金を払って、社会の一員として助け合える人になってほしい」と話して、最後の授業を結びました。「自立した大人」を目指して、これからも学び続ける人であってほしいと願います。

## 本を読もうよ

本校の図書室は、いつも温かな雰囲気には満ちています。何となく本を見に来たという人や、友達同士でしゃべりながら雑誌をパラパラとめくる人たちや、いろいろな人が訪れます。もちろん、通常に借りたり返したりする人も来ます。



【幼稚園実習を前に、絵本を選んだり、ビブリオバトルの題材を探したり。ネタに困ったら、とりあえず図書室へ】



【借りてくじを引くキャンペーンも、中台中国書室の名物企画。パズルに参加できたりしおりが当たったりとお得感満載】



【話題の本が手に取りやすく陳列されています。この時期は入試対策やメンタルヘルスの本に注目が集まっています】



【表紙のおもしろさに惹かれて何気なく広げたら「ナニソレ!？」と周りに人が集まります。ヨシタケシンスケ氏の絵本は大人気】

「あの本が読みたい」と探しているうちに、たまたま全く違う本を手にとってしまい、試しに読んだら意外と面白かった……という経験があるでしょうか。このような出会いをセレンディピティ（思いがけない偶然がもたらす幸運）と呼ぶことがあります。待っているよりも、自ら出向いた方が、面白いものに出会える確率は高くなるでしょう。ぜひ、用事があっても無くても、図書室に行ってみてほしいです。本校の図書室は、司書の先生のアイデアが生かされていて、通り慣れていない人にも、使いやすいと思いますよ。

さて、3年生は最後の国語の授業で、おすすめの本を紹介して、そのスピーチのよさを競い合う「ビブリオバトル」を行いました。

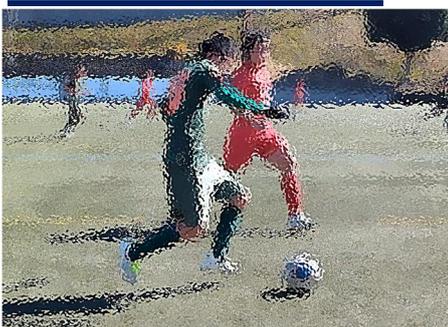
各班から選ばれた代表者は、自分がその作品から感じたことや、他の人に味わってほしいことなどを、言葉を尽くして語っており、作品への愛が伝わってきました。

そんな姿に感銘を受けた私も、ここで、「**レ・ミゼラブル**」という作品を紹介します。「ああ無情」と邦題が付いていることもあります。映画やミュージカルなどで、たいへん有名な物語なので、内容をよく知っている方もいるでしょう。

極貧のあまり一切れのパンを盗んだ主人公は、懲役19年もの刑に処されてしまう。釈放後、彼は放浪の末に出会った教会の司教の優しさに触れ、心を入れ替え、新しい人生を生き直す。やがて富と地位、名声を手に入れ成功した彼は、小さな女の子を引き取ることになり、家族同然の暮らしを始め、安らぎを得たかに見えた。が、彼を極悪人と決めつける警部が、彼を執拗につけ回し、ついに対決のときを迎える……というもの。

「許すこと・許されること」の意味や「信じること・信頼に応えること」の大切さ、そして「生きる意志・生かそうとする意志」の強さに気付かされます。伏線の回収も気持ちいいです。また、登場人物の造形が分かりやすく、全編を通して勧善懲悪なのも、たいへんすっきりします。主人公、ジャン・バルジャンの激動の人生と、それを生き抜く彼の強さと優しさには、しみじみと感動しました。ぜひ、心の柔らかい10代のうちに触れておくことをお勧めします。読めばきっと、誠実に頑張ろう、という気持ちになれるはずですよ。

## 寒さに負けない



【二十二日(土)に行われた第二ラック・サッカー大会において、本校サッカー部が、第三位入賞を果たしました。これまでの経験をバネに、ボールを追いかけてひたすら走ったり、パスをうまくつないだりして、一人ひとりが自分の役割を果たしました】



【三月一日(土)、男子テニス部・一年生大会。上級生とともに練習してきた成果を発揮し、全力で臨めるよう祈っています】